06

太田メタル 株式会社



切断加工した金属部材

機動力を発揮して顧客満足度の高い切断や切削加工を実現

平成29年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

切断加工業務の高精度化と自動生産システムの構築

■ 事業概要

現行の切断機は材料の供給や製品投入箱の交換時に設備を停止させる必要があり、連続運転が難しかった。原材料が約６ｍと極めて長く、切断機にセットするのも時間がかかった。この問題を解決するために新たな切断機を導入。切断機に材料を供給する機構を強化し、セットするスペースも大きくして補充回数を従来よりも減らしたほか、製品投入箱も取り扱いやすくするなど、独自の工夫を加えた。加工精度や処理スピードも上がり、顧客への対応力の充実も図ることができた。



補助事業で導入した1000ｔプレス機

課題	取組	成果
●加工品質の向上 ●間接作業による設備停止時間の短縮	●超硬丸鋸切断機の導入 ●材料ストック能力の増強	●設備停止時間の短縮が生産量アップや納期短縮につながった

■ 業務内容

取引先に近いエリアに工場構えて即時対応

パイプや丸棒を、顧客の要望するサイズに切断加工する専門業者。建設機械部品や建築資材の素材として金属部品メーカーなどに納入している。太田雄佐生（おさむ）社長が「他社には絶対負けない」とアピールするのは機動力だ。柔軟な加工設備の運用や作業スケジュールの組み換えを実施し、顧客の要望にはきめ細かく応える。本社工場はメーンの取引先に近いエリアに構え、必要があればすぐに駆け付けられる体制も整える。また、品質・納期・価格面でもさまざまな工夫によって優位性を生み出している。

品質向上やコスト低減に設備の運転データを活用

切断速度や丸鋸の回転数、潤滑油の温度など、切断機の運転データを綿密に取得し、最適値を把握することで、高い加工品質を実現するとともに、消耗品の寿命を最大限伸ばしたり、加工コストを低く抑えたりすることにつなげている。製品はカエリ、バリといった切断後の残留物が少なくなり、切断面の精度も高いことから納入先での２次加工の手間も省くことができるという。また、原材料は最大300ｔをストックできるという工場内の保管場所で管理し、急ぎの注文にはすぐに対応するほか、一括購入による仕入れコストの低減にも努めている。今回の補助事業で、新たな切断機を導入したことにより「さらなるレベルアップを図っていく」と太田社長は力を込める。

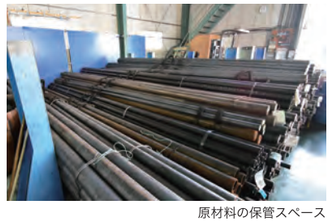


新たに導入した超硬丸鋸切断機

■ 強みとビジョン

勝負の早さに魅力を感じ切断加工にシフト

会社設立は平成26年８月。長く金属加工の仕事に携わってきた太田社長が立ち上げた。当初は線材の直径を細くして長さを伸ばす伸線加工をメーンの業務としていたが、受注から出荷までのリードタイムが短く、顧客の要望にも素早く応えられる切断加工に「勝負が早い」と魅力を感じ、途中から方向転換した。現在は顧客からの要望に応じて、切断後の製品に穴あけなどの切削加工を行っているほか、磨きシャフトや六角材の販売事業にも乗り出している。太田社長は「ここ数年で、会社としてステップを何段か上がった」と振り返る。



原材料の保管スペース

設備投資進めて切削加工業務の拡大目指す

今後は切断加工を業務の柱に据えながら、コンピュータ数値制御（ＣＮＣ）旋盤の保有台数を増やし、切削加工の仕事を積極的に請け負う計画だ。平成29年10月に現在の工場に移転したばかりだが、早くも次の拠点を確保することも視野に入れているという。「後ろを振り返って守りに入ったら終わりになる。商売をさせてもらっている限りは前に進まないといけない」と太田社長。顧客のニーズや動向を見極めながら、機動力を武器に、さらなる事業フィールドの拡大を目指す。



工場内の様子

気配りと目配りを怠らず経営者として精進続ける



顧客の信頼に応え、満足度の高い製品を提供するのが会社のモットーです。目配りと気配りが完璧にできれば、顧客が何を求めているかも分かり、従業員の能力や加工設備の性能も最大限引き出せるでしょう。経営者として、その境地にはまだまだ達していませんが、日々気づいたことを実行に移して精進を続けていきます。



代表取締役
太田 雄佐生

- **社　名**　太田メタル 株式会社
- **代表者**　代表取締役　太田 雄佐生（おさむ）
- **住　所**　〒579-8024 東大阪市南荘町12－10
- **ＴＥＬ**　072－968－8434
- **ＦＡＸ**　072－968－8435
- **資本金**　5,000千円
- **従業員**　4名

- **主な取引先**　金属部品加工メーカー
- **主な保有設備**　超硬丸鋸切断機3台、バンドソーマシン1台、CNC旋盤1台
- **主力製品**　建設機械向け部材、建築用部材

短納期　企画力　小ロットOK　量産OK　海外対応　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

好きな言葉は“やる気・元気・頑張る気”の３つだという。「この３つの気があれば、年齢はいくつになっても前に進むことができる」と語る太田社長の表情は明るく、エネルギーにあふれていた。
普段、「加工設備は生き物。機械と対話しなさい」と従業員に教え諭しているというエピソードからは感性の鋭さや周囲に対する優しさも感じた。昭和30年生まれ、64歳の太田社長が今後、どう会社を成長させていくのか。注目したい。